



若葉台中学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/wakabadai/>

発行 平成30年1月16日
横浜市立若葉台中学校
学校だより 4号
校長 岩永 徹
副校長 佐久間桂一

新年度を迎える準備を

校長 岩永 徹

新しい年、2018年が始まりました。今年も、本校に関わる全ての方々が笑顔で過ごせるよう、教職員一同、精進してまいりますので、ご理解、ご指導のほど、よろしくお願い致します。

さて、1月は、学校の暦では3学期。年度の納めとなります。始業式で、私は生徒たちに「4月から始まる新年度を迎える準備を、3学期のうちにしっかりしておいてほしい」と、次のように話しました。

3年生は、言うまでもなく、4月からそれぞれの新たな進路先へと進んでいきます。今は、多くの方は、希望の進路先に合格する、ということが最大の目標でしょうし、また最大の不安でもあることでしょう。先生たちは、全員が希望の進路先に進めるよう、心から応援しています。が、志望校に合格できたとしても、あるいは残念ながら第一志望ではない所に行くことになったとしても、それは4月からのスタートラインに立っただけの話です。もっと大切なのは、4月から充実した生活が送れるかどうか、ということです。そのためにどうするか。それは、中学校生活をきちんと終わらせる、ということです。前のことがきちんと終わらなければ、次のことはきちんと始められない。4月からのために、3年生のみなさんには、進路の可否に関係なく、最後まできちんとした中学校生活をしてほしいと思います。いい卒業式にしましょう。

2年生は、4月から3年生になります。3年生と言え、やはり卒業後の進路決定が大きな目標です。そのために準備しておくことは、やはり学力を身につけることでしょう。2年の3月に出る学年末の成績は、来年の入試の合格不合格に関係してきます。なので、今学期は、より一層、勉強に力を入れなければいけません。学力をつけましょう。

1年生は、4月から2年生となり、後輩が入ってきます。新1年生が君たちのことを見て、「さすが先輩」と感じるような、そんないい先輩になってほしいと思います。そのために、自分の学校生活全体を振り返って、「さすが先輩」と言われるようなことをできているか考えてほしい。そして、自分なりによりよい生活態度にしていってほしいと思います。

3学期は短いです。毎日を大切に過ごしてほしいと思います。

生徒たちの頑張りに、大いに期待しています。
今年一年、よろしくお願い致します。



若中生の活躍

人権作文で表彰されました。

- 1年2組 堀内 莉夏さん
- 2年3組 砂岡 凜さん
- 3年2組 宮崎 結衣さん

吹奏楽部

12月23日(土曜日)若葉台中央の広場にて「あったかコンサート」を開催しました。心温まる演奏に多くの方々の拍手をいただきました。

税の作文コンクール

で表彰されました。

- 3年1組 野呂 海月さん

社会科巡回作品展

で表彰されました。

- 1年1組 金野 郁美さん
- 2年3組 砂岡 凜さん
- 3年3組 近内 結子さん

卓球部

全横浜少年卓球大会で優秀な成績をおさめました。

- 1年男子の部 ブロック優勝
- 1年2組 太田 海仁さん
- 2年男子の部 ブロック3位
- 2年2組 佐野 賢さん

美術科旭区生徒作品展

で表彰されました。

- 1年1組 長谷川 大地さん 向井 楓花さん
- 2組 西井 知洋さん 平井 優衣さん
- 2年1組 石井 美羽さん
- 3組 岩本 芽衣子さん
- 3年1組 一宮 功世さん
- 2組 野村 歩花さん

今回掲載した生徒以外にも地域のボランティアとして、学校の委員会として、部活動の試合において多くの生徒が活躍しています。

/1月・2月の主な予定/

- 1月11日(木)・15日(月)・16日(火) 3年模擬面接(地域の方々に面接官をお願いしています)
- 17日(水) 放課後学習会、体操着販売(昼休み)
- 18日(木) PTA運営委員会 生徒14:00完全下校
- 22日(月) 生徒会委員会① 私立推薦入試
- 23日(火) 生徒会委員会② 私立推薦入試
- 24日(水) 個別支援学級 合同学芸会(戸塚公会堂)
- 31日(水) 3年第4回定期テスト①
- 2月 1日(木) 3年第4回定期テスト②
- 2日(金) 1・2年進路説明会
- 3日(土) 地域交流ソフトバレーボール大会
- 5日(月) 新入生説明会・部活動体験
- 10日(土)～13日(火) 私立一般入試・発表
- 14日(水)～16日(金) 公立共通選抜学力検査・特色検査・面接等
- 19日(月)～21日(水) 1・2年第4回定期テスト
- 22日(木)・23日(金) 1・2年学力学習状況調査
- 27日(火) 公立共通選抜合格発表

いじめ撲滅への取組

はじめに

昨夏、横浜市旭公会堂にて、「旭区 横浜子ども会議」が行われました。テーマは、「もう一度、いじめの問題に向き合い、自ら解決しようとする子ども社会をつくろう」でした。

旭区内、全小・中学校の代表児童生徒が、このテーマをもとに、各学校の現状や課題、そして、今後の取組について話し合いました。本校からは、前・生徒会会長 氏家愛理さん（3年）が、学校代表として参加しました。子ども会議に先駆けて、若葉台小学校代表児童のみなさんと一緒に、この問題を考えるための時間を重ねてきた彼女にとって「いじめについて考えること」は、自分一人ではなく、より多くの人と語り合い、人の気持ちを知り、共感し、人間関係を築くうえで必要なことを共有することが最も大切であると考え、「こんな話し合いをクラスのみなと、全校のみなと一緒にもちたい！」彼女のその熱意が、学校を動かしました。

昨年12月初旬、生徒会長が全校生徒に問題を投げかけ、生徒会本部役員、学級委員、生活委員が中心となり、「自分たちの、自分たちによる、自分たちのための、いじめについて考える授業」を行いました。当日の道徳授業「いじめについて考える」は、生活委員が司会進行し、実際に「横浜子ども会議」でも使用された「気づきシート」が用いられました。どんなささいなことでも、「知らず知らずのうちに、人を傷つけ、嫌な思いをさせてしまったこと」を一人ひとりが書き出し、グループごとにその具体的な場面や言動を共有しました。グループ内で挙げられた「いじめにつながりそうな小さな場面」をクラス全体で発表。友達がどんな思いでいたのか、自分のしたことがどんなにひどいことにつながるのか、をそれぞれが考えました。感じたことや気づいたことをグループ内、クラス全体で伝えあうことで、前・生徒会長の思いは、まずは一步、実現されました。「大事なことは、継続的に考える機会をもつこと、日頃からいじめにつながる自分の言動に気をつけていく意識をもつこと」と氏家さんは思いを述べてくれました。

司会進行は全て生徒自身が行い、学級担任はその授業のまとめを感想として述べるに留まりました。中心となった生活委員、サポートをしてくれた学級委員、生徒会本部役員の生徒たちは、緊張した様子ではありましたが、授業後、どこか誇らしげに見え、たくましく感じました。授業後の生徒たちの感想の多くに、「気持ちを伝えあえる時間が持ててよかった」、「みんなでいじめについて話し合うことができてよかった」、「人と接するときの大事なことを学んだ」などの感想が多く挙げられたことは、大変うれしく思います。この問題の撲滅に向けては、まだまだ十分とは言えませんが、前・生徒会長の言葉にあるように、今後も日常的に「いじめのない社会」を求めていく心をしっかりと育んでいってほしいと願います。

道徳授業「いじめについて考える」 生徒感想より

- ・ちょっとしたことで人を傷つけてしまうんだな、と感じました。人と話すときは、一つひとつの言動に責任を持たなきゃいけないな、と思いました。
- ・みんながやられていることや、やっつけていることに対してどう思っているのかを知ることができたので、よい学習だったと思いました。
- ・生活委員として、クラスで意見交換をして、「いじめ」について、みんなが考えてくれたんだ、と感じることができました。
- ・「いじめ」について、みんなで意見を出し合うことで、自分が知らないことに気づかされたということと、みんなで共有することができたことが良かったと思いました。
- ・一人ひとり、いろいろな「嫌」と感じるものがあるのだと知ることができました。また、みんなが「いじめ」についてしっかり考えているのだとわかりました。

3 年学力学習状況調査結果と分析

各教科からの結果と分析

国語	基礎基本は市の平均を上回っていますが、活用問題を苦手としています。特に、「文法」や「語彙」といった言葉の特徴や決まり、また、説明的文章について、論理の展開の仕方を捉えて内容を理解する力を伸ばして行く必要があります。
社会	授業において大切にしていることは、資料を根拠に考えを表現することです。その結果として、活用問題が市の平均を上回っています。その反面、基礎基本が平均を下回ってしまいました。特に歴史の基礎基本を身に付けるために、毎回のミニテストなど学習の積み重ねを進めていく必要があります。
数学	知識問題・技能問題は市の平均程度の結果となりました。活用問題では、関数分野で市の平均を上回り、数と式分野では市の平均を下回っています。平方根や文字式の計算を根拠に説明する練習が必要です。
理科	実験から考察することを重点に取り組んでいますが、復習の習慣が定着しないため、学習した時は覚えていても忘れてしまうことが多く、数学的な力の不足や読解、表現力の不足を感じます。
英語	基礎基本は少しずつ定着してきていますが、単語や熟語、文法を再度復習して、問題を正確に解く力を身につけていく必要があります。活用問題でも、文章の中での英語の適切な表現ができるよう、より多くの問題を解き、練習を重ねて力を伸ばしていくことが大切です。

生活調査の結果と分析

※本校の取組目標である「学び合いや対話の重視」「自他を大切にできる心情や態度の育成」「地域の中で成長し、社会に貢献できる生徒の育成」に関係すると考えられる項目との相関から。

学校生活の中で、ものごとを最後までやり遂げたことに対する成就感、達成感を味わっている生徒は多く、自分自身によいところがあると答えた生徒も7割程度いました。今後も、自己有用感を味わうことができるような場面設定を多くし、生徒自身が自信をもって物事に積極的に取り組めるようにしていきたいと思えます。

生活面では、地域に関しては、ボランティアや行事に積極的に参加するものの、自分が地域のために何をすべきかという考えまで至る生徒は多くありません。地域社会に生きる一員としての意識を高く持たせるためにも、日頃から本校の教育活動に関わってくださる地域の方々との交流（地域交流・戦争を語る会・面接指導など）を大切に、常に地域のことに関心を持たせたいと考えます。

そのためにも、日頃から授業の中で、自分の考えや意見を積極的に人前で述べられるように、教え合いや学び合いの場面を多く持ち、異なる他者の意見を受けとめ、自分自身の意見を述べられるように言語活動の充実化を図っていきたいと思えます。